

## 授業科目

## 聴覚障害II演習

担当教員名 佐藤 克郎、桑原 桂	対象学年	3	対象学科	言語
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	○

## 授業の概要

聴覚障害を的確に評価するための各種聴力（覚）検査法を実施に即して習得し、学習する。

## 授業の目的

これまで学んだ聴覚障害に関する基礎的な知識を応用できる力を身につける。

## 学習目標

- 1 各種聴力検査法を理解する。
- 2 実際に検査を行うことが出来る。
- 3 検査結果を評価することが出来る。
- 4 臨床例から疾患を理解する。
- 5 検査記録を整理し、理解して、学んだ内容を説明できるようにまとめる事が出来る。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1,2	聴力検査の実際とマスキングの実際(応用)	講義 (A・B合同)	桑原 桂
3,4	純音聴力検査とマスキング (応用)	講義、実技、演習 (A・Bグループ別)	桑原 桂
5,6	語音聴力検査 (応用)	実技、演習 (A・Bグループ別)	桑原 桂
7	幼児聴力検査 (体験)	講義、実技、演習	桑原 桂
8	疑似難聴体験	演習	桑原 桂
9	標準純音聴力検査	実技、演習 (2人組で実地検査施行)	桑原 桂
10	聴覚障害の臨床	演習	佐藤 克郎
11,12	伝音難聴をきたす疾患	演習	佐藤 克郎
13,14	感音難聴をきたす疾患	演習	佐藤 克郎
15	まとめ	演習	佐藤 克郎

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	聴覚検査の実際改訂3版	日本聴覚医学会編	南山堂	2013年	3,400円+税	
	成人聴覚障害	中野雄一	考古堂	2010年	2,500円	
その他の資料						

## 評価方法

演習状況と定期試験から評価する。

## 履修上の留意点

学習ノートは学問体系を知る上で重要であり、作成には工夫が必要である。

## オフィスアワー・連絡先

佐藤克郎  
katsuro-sato@nuhw.ac.jp (まずメールにて連絡をしてください)

桑原桂  
基本的に水曜日2限と金曜日3限がオフィスアワー  
Office:F307 Tel:025-257-4430 E-mail:kuwahara@nuhw.ac.jp